



福生二中だより

No. 7

令和6年11月1日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

今やろうと思ったのに…

「勉強しなさい!」「今やろうと思ったのに!もうやる気ない!」という会話、ありませんか。できれば、避けたいやりとりですが、いつまでたっても勉強しない子供についていってしまうのではないかと思います。私は、この「勉強しなさい!」のかわりのフレーズが他にないかとずっと考えています。そこで、次のように考えてみました。

子供が「何のために勉強するの?」と言ってきたら、どう答えますか。学校でも、生徒が同じ質問をしてくるときがあります。我々教師は、一人一人答えをもっていますが、保護者の方々はいかがでしょうか。この答えを考えると、「何のために勉強するの?」という子供の側ではなく、「親は、子供に何のために勉強させるの?」、つまり、親の側から考えることが、その答えにつながるのではないのでしょうか。

では、親は、何のために勉強させているのでしょうか。「幸せになってもらいたいから」、「社会で困らないでほしいから」…。その答えは、一人一人異なると思います。私は、この問いの答えこそが、ふだん何気なく発してしまいがちな「勉強しなさい!」という言葉に替わる子供にやる気を起こさせる言葉につながるのではないかと思います。2学期の期末考査を控えた今だからこそ、その言葉は大切ではないのでしょうか。

圧巻! 第50回合唱コンクール 素晴らしい感動をありがとう!!

「圧巻」の合唱コンクール。10月23日(水)に行われた合唱コンクールはそう呼ぶにふさわしい行事でした。歌に込められた一人一人の心(想い)が聴いている人々に感動を与えました。それが、全学年、全クラスだから、「圧巻」と言うほかはありません。本当に、「魅力ある学校だなあ」と心の底から思いました。間違いなく、スローガンである「天歌夢奏～歌を心で創る我らの物語～」が達成された瞬間でした。



このような素晴らしい時間と感動を与えてくれた生徒の皆さんには心から感謝します。我々教員は、このような素晴らしい生徒と共に過ごすことができ、とても嬉しく思います。

合唱コンクールにお越しいただきました御来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

各学年の取組 ～魅力ある学校づくりに向けて～

第1学年

1年生は、初めての合唱コンクールで、とても緊張していました。それでも、今できる精一杯の歌を届けることができました。今回の行事を通して、クラスが1つになった瞬間があったと思います。1人では味わえない感動をクラスで感じる事ができました。そういう経験を今後もたくさん感じることができる学年であり続けたいと思います。1年生としていられる時間も半分になりました。さらなる学年の成長を期待しています。



第2学年

2学年の合唱コンクールは、一人一人の底力が発揮された感動的な発表でした。練習から本番まで、各クラスの様子を紹介します。

◇実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心によく声を掛け合って、クラスはいつも笑顔で練習していました。(1組)

◇練習の中心だった実行委員と共にパートリーダー、指揮者、伴奏者が相談して取り組む姿に引き寄せられるようにクラス全体がまとまっていく様子が印象的でした。(2組)

◇「青葉の歌」は難しい曲であり、初期の練習では苦戦しましたが、実行委員を中心に生徒同士が「想いやり」をもった練習を行うことで、本番では最高の歌声をホールに響かせ、観客を魅了することができました。(3組)

◇「金笑(きんしょう)」を目指して一生懸命練習し、本番でも精いっぱい歌うことができました。クラスの絆が深まりました。(4組)



第3学年

学年合唱では、「春に」を全員で熱唱しました。後方の保護者席にもその歌声が響き渡り、3年生の合唱コンクールにかける意気込みが伝わってきました。クラス発表では、3年生は人数が少ないながらも指揮者を中心に一系乱れず、優劣の付けがたい感動的な合唱に仕上がりました。男子の低音の響きがきれいに発声され合唱をしっかりと支え、その上に女子パートがハモリながらメロディを奏でていました。昨年の歌声とは格段の違いに、この一年間の成長を感じました。

3年生の歌声に、会場にいる誰もが感動と余韻に浸ることができました。



11月の主な予定

※ 詳細は、配布済みの月行事予定表を御参照ください。

5日(火)ロープスキッピングチャンピオンシップ
8日(金)漢字検定

13日(水)～15日(金)期末考査
24日(日)ESAT-J